

神 調 報

shin cyo hou

2025
増刊号

2025 No.441



 神奈川県土地家屋調査士会
<https://kanagawa-chousashi.or.jp>

土地家屋調査士倫理綱領

1. 使 命

不動産に係る権利の明確化を期し、
国民の信頼に応える。

2. 公 正

品位を保持し、公正な立場で
誠実に業務を行う。

3. 研 鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。

目 次

会長・副会長就任挨拶	1
部長就任挨拶	3
政治連盟会長 就任挨拶	4
令和7年度 事業計画	5
新役員一覧表、新支部長一覧表	7
新支部長就任挨拶	8
編集後記	12
会員異動	14

表 紙

『第86回定時総会』新体制が始動

写真 稲葉 健太郎 文 花上 康一

令和7年5月22日、第86回定時総会がロイヤルホールヨコハマにて開催され、令和6年度決算・監査報告および令和7年度事業計画・予算案が承認されました。新会長には西田貴麿氏が選任され、「会員と共に前進する会を目指す」と力強く就任の挨拶。式典には横浜地方法務局長ほか多くの来賓が臨席し、土地家屋調査士業務への激励を賜りました。

会長の挨拶



第86回定時総会において、会長に選任いただきました、横浜東支部の西田貴磨です。どうぞ会員の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私は副会長として、4期8年、会務に携わってきました。その中で気づいたことは、本会は、調査士が行う業務の環境を調えるために、相当な労を払っているということでした。公正な業務を行う会員を守る。これが本会の大切な役割のひとつです。

その本会は、これまでいろいろな経費の削減を実行してきました。最近では、ファックスによる通知の撤廃や、研修資料の配布の省略などを実施しました。会員の皆さんの負担と、経費の削減とを天秤にかけた結果、実行されたものです。

それでも、どうしても取り組まなければならないのが、会費の検討です。現在の会費は平成8年に設定され、そのときの会員数は919名でした。現在の会員は今年の3月31日時点で780名であり、約140人も減少しています。調査士会の原資は、皆さんに納めていただく会費ですから、収入も毎年減少しています。それに加え、本会が連合会に納める会費が、令和9年から値上げされます。これにより、本会は大幅な赤字に転落し、現在の会費では令和11年に繰越金が底をつきます。これに対応するには、まずは経費の削減です。予算の執行率を考慮しながら、効率的な予算配分と、不要な事業の見直しを、これまで以上に検討します。しかし、平成8年からの物価や賃金の上昇を考慮すれば、別の手段を考える時期が到達したと考えます。

神奈川県土地家屋調査士会 会長 西田 貴磨

調査士会には、市民から「調査士を紹介してほしい」というご要望が寄せられます。また、裁判所が不動産の管理人を選任する所有者不明土地・建物管理制度が運用されるようになりました。そこでは、適正な業務を行う調査士を推薦する仕組みが求められています。業務の地域性にも対応するため、各支部にご協力をいただきながら、推薦人の名簿を作りたいと考えています。

かつて、登録1年以内の会員のために「配属研修」という制度がありました。経験のある会員のものと、新人が実務を習得するというものでしたが、この制度は撤廃され、現在では経験のない新入会員に対して、業務を伝える制度はありません。しかし、私自身がそうであったように、同じ調査士との情報共有が、経験の不足や、そこからの不安を解消してくれます。私は、業務の品質の水準を高めるため、会員同士の交流を深める活動に投資したいと考えます。

私たちは、法令や条例、官公署が備える要綱、マニュアルに沿って業務を行っています。その「決まり」に疑問を感じても、それはなかなか行政に届きません。その活動を担っていただいているのが政治連盟です。私は、これまで以上に政治連盟と連携を深め、私たちの業務環境の改善を進めます。

最近、仕事を取り巻く環境が厳しくなった、という声を聞きます。しかし、それは私たちの仕事に対する期待の裏返しです。どうしてもいい仕事には、興味すらないのですから。

期待に応える。それが私たち調査士の気質でしょう。だから、私は調査士の将来を悲観していません。少しずつであっても前に進む。2年の間にどれくらい進むのか、とても楽しみです。

副会長の挨拶



副会長 高橋 真人

第86回定時総会において
西田会長より副会長に指名
されました湘南第二支部の
高橋です。今まで3期6年
間財務部長を務めてまいり
ました。6年前就任した時
は常任理事の中で年齢的に真ん中あたりでしたが、今回は常任理事の中で一番の年長さんになってしまいました。新任理事を見回しても私より年上はたったの一人。その一人が在籍する財務部を担当させていただきます。ロートル二人が在籍する財務部にご心配の声もあろうかと思いますが、経験値でカバーしていくのでご安心ください。もう一つ担当させていただくのが広報部です。今まで継続してきた出前授業に加え、昨年から始めた寄付講座等により将来を見据えた制度広報活動を効果的に進めていければと思っております。いずれにおいても今回拝命を受けた副会長職は会長、部長の補佐役であり、各部長が会務運営をより進め易くする事が一番の責務と思っております。二年間どうぞよろしくお願い致します。



副会長 石垣 博

第86回定時総会において
西田会長より副会長の指名を受け、業務部と研修部
を担当することになりました
湘南第一支部の石垣博で
ございます。以前は4期8
年間業務部(次長4年)、(部長4年)として活動
してまいりました。

業務部・研修部とも会員の皆様方におかれましては、最も重要な柱と思いますので、心して職務に当たるとともに、西田会長をお支えする所存です。

今般、所有者不明土地問題に起因した筆界確認情報の取扱いや令和3年の民法改正等で登記の取扱いが大きく変化しております。引続き法務局や行政との協議、他会との連携及び情報収集をし、会員の皆様に多くの情報をご提供できるよう努めますので2年間よろしくお願いいたします。



副会長 河 光成

第86回定時総会において、
西田会長より副会長の
指名を受け、総務部とセン
ターを担当することになり
ました横浜東支部の河です。
所属する支部では幹事から
支部長まで、調査士会では理事、委員会、セン
ター運営委員等、登録当初は想定していなかった
役員を、諸先輩方や、同じ役員、事務局の皆
さんに助けられながら、自分なりに精一杯務め
させていただきました。お世話になりました皆
さまにはこの場を借りてお礼申し上げます。今
思うと役員を受けたことから広がった人脈、知
識、経験は今の私の財産となっていると痛感し
ております。副会長となり、毎日送られてくる
大量のメールに戦々恐々とする日々ですが、会
員の皆様のため会務に励んでまいりますので、
よろしくお願いいたします。

部長の挨拶



総務部長 金子 力也

この度、総務部長を務めさせていただくこととなりました横浜中支部の金子力也と申します。

私は深瀬前総務部長のもとで総務部員として一期2年業務を行わせていただき、この部に関わる業務処理の難しさや重みを痛感しました。

この経験から自分のような若輩者が総務部長という重い役を務めて良いものか未だに悩んでいます。

しかし、お世話になった本会や会員皆様のお役にたつことが出来ればと思い引き受けさせていただきました。

総務部で取り扱う問題も多岐に渡り、登記関係法令や業務に関わる知識だけでは解決出来ないものばかりです。

今後は本会事務局、理事役員方のご協力をいただき、自分も成長しながら会務運営に携わっていければと考えております。

今後ともよろしくお願い致します。

財務部長 島村 賢



このたび、財務部長を拝命いたしました、大和支部の島村でございます。

急なご要請であり、これまで理事として所属していた部門とも異なることから、正直なところ戸惑いもございました。

また、部長職という大任をお引き受けすることには、大きな不安も抱いておりましたが、ご要請

をいただいたという事実に、「自分にも何らかの役割を果たせるのではないか」という思いが芽生え、あわせてこれを自身の成長の機会と捉え、今回のご用命をお受けすることといたしました。

ご承知のとおり、近年は会員数の減少に加え、物価の上昇など社会経済の変化も著しく、会務運営においては、これまで以上に財務の健全性と長期的な視点が求められております。10年後、20年後、その先の将来を見据えつつ、財務部理事をはじめ関係各位と力を合わせ、神奈川会が安定した基盤を維持できるよう、誠心誠意努めてまいります。

会員の皆様におかれましては、何卒ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



業務部長 太田 雅人

第86回定時総会後の理事会において業務部長を拝命いたしました川崎支部の太田雅人と申します。本会理事として業務部で3期6年前小笠原副会長、現石垣副

会長の元、様々な経験をさせていただき勉強をさせていただきました。また調査士登録して18年たくさんの先輩や仲間を支えられ助けていただきここまでやってこられたと思っています。それらの感謝と恩返しの気持ちで微力ではありますが土地家屋調査士業界が少しでも良くなるように業務部長として会務に携わって行きたいと思っています。しかしながら人間一人ではたいした事はできません。調査士会員皆

様一人一人の関心と協力があって初めて大きな力になると思っております。若輩者を助け次の世代の調査士を助けると思って会員の皆様のお力を貸していただければと思います。私も精一杯頑張っていきますのでご指導、ご鞭撻、そして「ご協力」の程よろしくお願いいたします。



広報部長 小田 靖

この度、第86回定時総会後の理事会において広報部長を拝命いたしました、県西支部の小田靖です。

理事としては県西支部推薦理事として5期目となります。

また、広報部長としては4期目となります。再度拝命していただいたからには、全力で会務に励んでいく所存です。

広報部としましては引き続き、国民に土地家屋調査士という資格制度を広く認知されるよう活動していきます。神奈川県土地家屋調査士政治連盟、空家等対策特別委員会の役員及び委員各位に協力していただき、また、広報部として出来る限り協力し、総会にて承認された事業計画が達成できるよう活動してまいります。

会員各位におかれましても協力してもらう事が多々あるかと思いますが2年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

研修部長 大久保俊生

この度、研修部長を拝命いたしました横浜東支部の大久保俊生と申します。

入会時より支部研修担当として、また研修運営委員として研修業務に携わって



まいりましたが、本会理事の経験はありません。

これまで、調査士としての知識を習得するため多くの研修会に参加いたしましたが、どの活動にも陰で支えてくれている先輩方の存在を知り、また多くの会員と知り合うこともできました。

土地家屋調査士倫理綱領に「専門分野の知識と技術の向上を図る」と記載されております。会員の皆様の知識・技術の向上に役立つ研修会を開催したいと思っております。また、研修会は会員同士の交流の場としても、とても良い機会だと感じております。

多くの会員が積極的に研修会に参加していただけるよう会務に励んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

政治連盟会長就任の挨拶

神奈川県土地家屋調査士政治連盟

会長 花上 康一



このたび、神奈川県土地家屋調査士政治連盟第25回定時総会にて会長を拝命いたしました花上康一です。重責を担う立場として、身の引き締まる思いとともに、

使命感を強く抱いております。本年度は、土地家屋調査士会との緊密な連携のもと、現場の実情を反映した実効性ある政策提言を推進してまいります。特に、要望ヒアリングを通じて、調査士の皆様が専門性を発揮しやすい制度・環境の整備に注力し、調査士制度の持続可能性と社会的価値のさらなる向上を目指します。皆様の期待に応えるべく全力を尽くしてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻ならびに力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年度事業計画

所有者不明土地問題に起因する各種法改正が実施され、それに伴って新たな制度が創設されるなど、土地家屋調査士を取り巻く状況は、日々変化しています。昨年4月の相続登記の義務化により、国民の間で高まる登記制度への関心に対応するために設置された、横浜地方法務局本局及び各支局における相談窓口を継続して実施します。

また、不動産登記規則第77条に規定される基本三角点等を使用した測量を、より多くの会員が積極的に実施できるよう、登記基準点測量についての啓発を進めます。その結果は、災害が多発する昨今において要請される、より復元性の高い地積測量図の普及に貢献できるものと考えます。

所有者不明土地・建物管理制度では、特定の不動産ごとに管理人を置くこととなり、境界の確認を要する事例において、管理人として土地家屋調査士が選任される事例も見受けられます。土地家屋調査士にとって新たな挑戦となるこの制度に関し、会員の知識の向上に取り組めます。他方、オンライン申請に代表されるデジタル社会の推進に伴い、本会もさらなる効率的な会務運営を進めるため、会員への業務連絡や、研修会の通知・回答について、WEBの活用を推進していきます。

総務部においては、円滑な会務の運営と会員に対する注意及び指導を行います。また、法改正や各種制度の変更に伴う対応を速やかに行います。

財務部においては、人口減も背景となっている会員数減少への対策を検討します。また、災害時

等に備えた各種の積立を充実させながら、より効率的な予算執行を行います。

業務部においては、調査士業務が円滑に処理できるよう、横浜地方法務局や日調連及び各行政との情報交換等に努め、会員各位に必要な情報を速やかに伝達することを事業の中心とし、引き続き円滑な業務遂行、登記事務処理のため法務局や各行政との連携を充実すべく協議会等を開催し連携推進を図ります。また、会員への迅速な業務情報の提供に努めるとともに特に新入会員の業務の質の向上のための活動を行っていきます。今後本会ホームページを通じて業務情報の発信を行っていきますので、各会員におかれましては今後一層のホームページの確認にご協力をお願いします。

広報部においては、予算状況を考慮しながら、神奈川県土地家屋調査士政治連盟、関連特別委員会、各支部広報員と協力し、より活発かつ効率的な広報活動を行います。また、社会貢献活動の一環として、今年も神奈川大学において寄付講座を開設します。

研修部においては、年次研修会および新入会員研修会その他会員の業務に役立つ研修会を実施します。また研修会の開催方法として、集合形式およびライブ配信等の手法を適切に選択します。

「境界問題相談センターかながわ」の運営については、これまで同様、本会が一定額の経費負担をしたうえで弁護士会と協力し、事業を継続運

営いたします。また、越境物に関する覚書の作成を支援する業務に加え、オンラインによる相談及び調停に対応します。

最後に、安定しているとは断ずることのできない現在の経済環境において、土地家屋調査士制度の維持発展のためには、すべての調査士が自らの業務に専門家としての高い意識と責任感を持ち、依頼者との間の信頼関係を深めていくことが必須であると考えます。それが、国民に対する土地家屋調査士の知名度を向上させ、更には新たに調査士を目指す若い世代の育成に繋がると信じてやみません。その目標を実現させるため、会員の皆様にご協力をお願いしながら、事業の執行に努めたいと考えます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

総務部

1. 会務運営の効率化
2. 会員の執務指導
3. 法務局及び他調査士会、関係団体等との連携
4. 法改正・会則・諸規則等の整備に関する対応

財務部

1. 入会金及び会費の徴収並びに支出の効率化と管理
2. 会館設備の整備及び今後の修繕計画の検討
3. 福利厚生事業の実施

業務部

1. 調査士業務に関する指導及び連絡

2. 適正なる業務処理の推進
3. 調査士業務に関する資料の収集及び公開

広報部

1. 空家等対策への取組を活用した制度広報活動
2. 大学への寄付講座、出前授業など社会貢献活動を活用した制度広報活動
3. 行政機関等での動画広告など効果的な制度広報活動
4. ホームページを利用した広報活動、会報誌の発行、無料登記相談会の実施

研修部

1. 年次研修会の実施
2. 会員・一般研修会、新入会員研修会の実施
3. 研修内容および運営に関する情報収集と研究

新役員一覧表

役員名	担 務	氏 名	所属支部	役員名	担 務	氏 名	所属支部
会 長		西田 貴麿	横浜東支部	理 事	財 務	旭 啓 吾	横浜北支部
副 会 長	財務・広報	高橋 真人	湘南第二支部	理 事	業 務	神 谷 誠	横浜中支部
副 会 長	業務・研修	石 垣 博	湘南第一支部	理 事	業 務	臼井 伶衣	川 崎 支 部
副 会 長	総務・センター	河 光 成	横浜東支部	理 事	業 務	石 崎 裕	湘南第一支部
常任理事	総 務	金子 力也	横浜中支部	理 事	広 報	露木 文子	県 央 支 部
常任理事	財 務	島 村 賢	大 和 支 部	理 事	広 報	浅川 泰雄	川 崎 支 部
常任理事	業 務	太田 雅人	川 崎 支 部	理 事	研 修	二宮 竹弘	湘南第二支部
常任理事	広 報	小田 靖	県 西 支 部	理 事	研 修	西 剛 志	横浜東支部
常任理事	研 修	大久保俊生	横浜東支部	監 事		小川 明洋	湘南第一支部
理 事	総 務	佐々木重信	横須賀支部	監 事		朝里 孝浩	相模原支部
理 事	総 務	細川 英史	横浜南支部	監 事		力石 高志	県 西 支 部
理 事	総 務	佐野 克直	相模原支部				
理 事	総 務	小川 尚志	大 和 支 部				

新支部長一覧表

役員名	所属支部	氏 名
支 部 長	横浜中支部	鯨井友一郎
支 部 長	横浜南支部	町田 昌吾
支 部 長	横浜東支部	久徳 慎也
支 部 長	横浜北支部	篠 原 収
支 部 長	川 崎 支 部	桑 原 泰
支 部 長	横須賀支部	梶谷信太郎
支 部 長	湘南第一支部	石井 公治
支 部 長	湘南第二支部	深谷美登里
支 部 長	相模原支部	梅津 賢一
支 部 長	県 央 支 部	川 口 正
支 部 長	大 和 支 部	中田 隆之
支 部 長	県 西 支 部	山口 宏幸

支 部 長 か ら の 挨拶



横浜中支部長 鯨井 友一郎

この度、横浜中支部第29回定時総会におきまして、神谷前支部長の後任として支部長に就任いたしました鯨井友一郎と申します。

歴史と伝統のある横浜中支部の運営に支部長として携わることとなり、その責任の重さを痛感するとともに不安もありますが、仕事、趣味や遊び同様に人生におけるひと時の「ピース」がまた一つ加わったと考え、あまり気負わずに、支部会員皆さんの力を借りつつ、微力ながら支部運営に取り組んでまいりますので、2年間何卒宜しくお願い致します。



横浜南支部長 町田 昌吾



みなさん、こんにちは、トランプ政権と同じくかえり咲、支部長2期目を仰せつかりました町田昌吾です。

諸先輩より当支部も高齢化に伴い、若手の掘り起こし育成をとのご指導をいただき次の横浜南支部を楽しく豊かに構築して参ります。民法・不動産登記法の改正より所有者不明土地の対策として相続登記の義務化となり手続きが進んでおりますが未だ不明土地が多い状態です。又、相続土地国庫帰属制度もスタートし筆界のエキスパートとして、責任使命が問われる時代となっております。若手の会

員が迷わない様、会員相互間の情報の伝達や、日常業務の問題解決を先輩諸氏の英知と経験をスムーズに伝達相談できるよう相談役を4名体制としました。諸先輩のお力をお借りしながら各班に身近な相談役を配置し日常業務や問題等、班会議の充実を図ります。更に各班合流した班会議なども考えています。

そもそも横浜南支部は、歴代の諸先輩の真摯でまっすぐな姿勢と教えられる熱い土地家屋調査士魂が存在しておりこれを後輩が受け継ぐことが重要と推察するからです。横浜南支部はあったかいなあ〜と他支部から羨まれるような支部にして参りたいと思うのです。

近年は、大雨による災害・大規模地震等予測のつかない時代です。神奈川県災害連絡網から横浜南支部の災害連絡網を充実し、身の安全・安心を連絡確保すると共に、地域の行政担当と連絡を強化し防災のできるよう又、頼れる地域の土地家屋調査士として横浜南支部メンバーであることを各位自覚いただききたく努めてまいりたい。役員の方々と共に、土地家屋調査士としての将来有るべき姿を模索しながら、会務を務めて参りたいと考えておりますのでご支援ご協力をお願い申し上げます。



横浜東支部長 久徳 慎也

横浜東支部の支部長に就任しました久徳と申します。これまで、調査士の使命とは何かを考えながらやって

きましたが、いまだその確かな答えを見いだせないまま支部長拝命となりました。

この2年でその答えに少しでも近づくために支部の皆様のご助力を賜りたいと思っております。

そして、それに少しでもお返しができるよう、微力ではありますが精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



横浜北支部長 篠原 収

このたび、引き続き横浜北支部の支部長を務めさせていただくこととなりました篠原収と申します。

平成17年に入会以来、支部幹事・副支部長として支部活動に携わってまいりましたが、1期目の支部長職では改めて、支部運営の重みと責任を実感する日々でございました。不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけしたこともあったかと思いますが、支部役員の皆様、そして会員の皆様のご支援・ご協力のおかげで、任期を全うすることができました。この場をお借りして、深く感謝申し上げます。

支部活動は、会員同士のつながりを深め、実務に活かせる情報を共有し合える貴重な場であると改めて感じております。今後は、より多くの会員の皆様にご参加いただけるよう、親しみやすく参加しやすい雰囲気づくりを意識した行事や研修の企画を、支部役員と連携しながら進めてまいります。

また、世代や経験年数の垣根を越えて、情報交換や意見交換ができる場を設けることで、支部全体の活性化につなげていきたいと考えております。若手の方々にとっても、支部活動が学びや交流のきっかけとなるよう努めてまいります。

2期目も引き続き、微力ながらも誠意をもって職務に取り組んでまいりますので、変わらぬご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



川崎支部長 桑原 泰

この度、川崎支部総会において支部長に選任されました桑原泰と申します。二期目となります。

一期目は支部長としてどうあるべきか自問自答しつつ行動していました。支部長となり感じたことは、想像していたより支部会員同士の面識がなかったことです。支部会員がどのようにして繋がりを持てるかを常に考えてきました。又、川崎支部長として他支部、他士業、政治家などのいろいろな方と会う機会を得ました。このような機会を無駄にせず継続できるように努めていきます。二期目だからと特別何かしようとは思いません。川崎支部に必要なことがあれば行動に移します。ただそれだけです。

一期目と同じく他支部長とは密に連携できればと思っておりますので、2年間、よろしくお願い申し上げます。



横須賀支部長 梶谷信太郎

この度、佐々木前支部長の後任として支部長に就任致しました梶谷信太郎と申します。

とうとうお鉢が回ってきたか、というのが正直な気持ちです。

新型コロナの影響で、なかなか支部行事に参加しづらい状況が続いたことありますが、昨今横須賀支部では支部行事に御参加いただく支部会員の方々の状況が若干寂しいものが感じられる状況です。

今後優秀な支部役員の方々のサポートのもと、参加してみたいと思える勉強会、参加したいと思える懇親会等を企画していきたいと思っています。

2年間、どうぞよろしくお願い致します。



湘南第一支部長 石井 公治

湘南第一支部長に就任した石井公治と申します。

平成14年から土地家屋調査士として湘南第一支部にお世話になり、現在まで広報、研修、総務、監事の仕事について支部役員の皆さんから教えていただきました。

支部活動から学んだ事を活かして、支部長として精一杯務めて参りますので、2年間どうぞよろしくお願い致します。

本稿の締め切り直前に、第1回目の支部役員

会を開催しました。

支部役員会では支部会員に対し、より良い支部活動を提案したいと熱意ある意見交換がなされ、より多くの支部会員の参加を促し共に活動を進めて行く事でまとまりました。

支部会員の皆さんにおかれましては参加、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



湘南第二支部長 深谷 美登里

この度、支部長の大役を拝することになりました深谷美登里です。これまで通算18年にわたり支部役員を務めてまいりました。

ライフワークとして取り組んでいる防災分野での多くの役割に加え、老親の介護や終活サポートなど私生活でも大切な役割を担っており、これらのバランスを保つために支部長職をお引き受けすることは大変悩ましい決断でしたが、微力ながら務めさせていただく覚悟をいたしました。

幸い、支部は楽しい雰囲気、優しく素晴らしい方ばかりです。どうか温かいお力添えをいただけますと幸いです。2年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。



相模原支部長 梅津 賢一

相模原支部の支部長に就任いたしました梅津賢一です。平成18年に入会した当時、私はまだ大学生で、土地家屋調査士の父が他界し

たと同時に実務経験のないまま入会をしました。そんな状況の中でもやって来られたのは、父の仲間だった土地家屋調査士の先輩方が親身になって仕事を教えてくれたからでした。私が周りの方々に育てていただいたように、これからの新しい人材が土地家屋調査士として成長し、自信を持って仕事ができる環境を作っていきたいと思います。そして、相模原支部では研修・発信・交流の3つを柱にして、社会から必要とされる土地家屋調査士の更なる価値の向上を目指して支部活動をしてまいります。何卒宜しくお願いいたします。



県央支部長 川口 正

このたび県央支部の支部長を拝命いたしました川口正です。歴史ある支部の舵取り役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。

これからは前例のない事案がますます増えることが予想されるなか、何事も「当たり前」と捉えず、常識を疑い、進化を続ける姿勢を大切にしたいと考えています。時代に合わせて変えるべきことは変え、守るべき伝統は守る。そのバランスを見極めながら、会員の皆様が誇りをもって活動できる支部運営を目指します。

支部長という職務を通じて、私自身も大いに学び、成長してまいりますので、ご指導・ご支援のほどよろしくお願いいたします。



大和支部長 中田 隆之

このたび大和支部支部長を拝命いたしました中田隆之です。

支部長としての責務を果たすため、「支部は何のために存在するのか」という

問いを基軸に、自由闊達な議論を重ねながら活気ある支部運営を目指してまいります。今後は二つの重点テーマに取り組みます。

第一に「知の集積」として、会員同士が知識や経験を共有し合い、実務力の向上を図ること。

第二に「実務者の意見集約」として、現場で感じる業務の不備を支部として取りまとめ、制度改善へとつなげていくことです。

皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



県西支部長 山口 宏幸

このたび、県西支部支部長として2期目を務めさせていただくこととなりました山口宏幸です。1期目の2年間は、初めてのことで戸惑う場面も多くありましたが、支部役員や会員の皆様の温かいご協力のおかげで、何とか任期を全うすることができました。また、支部長として他支部の取り組みや考えに触れられたことも、大変貴重な経験となりました。2期目では、これまでの経験を活かしながら、会員の皆様が安心して仕事に

打ち込めるような支部運営を目指してまいります。微力ではございますが、引き続き全力で取

り組んでまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

趣味で始めた家庭菜園も10年が経ちました。野菜作りより手間がかかるのが雑草の処理。野菜の周りは手作業で行い、休耕地や通路などは草刈り機で行います。これから迎える夏本番の雑草はかなり強敵です。管理している土地が150坪あるので草刈り機の稼働時間は約1時間。これを1週間おきにこなします。真夏にこの作業を行うと、多い時は体重が2キロも減ります。私はこの作業を罰ゲームと呼んでいます(笑)。年々老いを感じる今日この頃、いつまでこの畑仕事を続けられるのやら。

(高橋 真人)

突然ですが、筆者の最近の趣味はキャンプです。大体月一でファミリーキャンプとソロキャンプを交互に繰り返していたのですが、今年に入りファミリーキャンプは1回だけ。その1回の時に嫁から「家族でキャンプに行くのはしばらくなしで。長女が高校受験だから」と宣告されました。筆者が少し嫌そうな顔を見ると「その分、ソロで行けばいいじゃん」と言われました。そうかと、最近ではソロキャンプばかりですが、気が付いたことがあります。ソロだとへべれけに酔えない。ファミキャンではさっさと酔っぱらって家族の中で誰よりも早く寝てしま

うのが通常なので、ファミキャンに行きたい衝動がかなり高まってきている今日この頃です。

(小田 靖)

今年度より広報部の一員となりました県央支部、露木文子です。

多くの方々に私たちの仕事や役割をより深く知っていただくため、広報活動に尽力してまいります。

広報の立場から、土地家屋調査士の専門性や地域への貢献について積極的に発信したいと考えています。先輩方が築き上げてこられた大切なものと、私なりにフレッシュな視点や行動力を合わせ、より分かりやすく魅力をお伝えできるよう努めます。

右も左も分からないことばかりですが、精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします！

(露木 文子)

本年度より広報部理事として仰せつかりました川崎支部の浅川泰雄です。

政治連盟にも携わらせていただいておりますので、議員の方々を通じ、世間一般の方にも我々土地家屋調査士の役割や社会的貢献度を伝え知名度を上げ、「測量士さん」とは呼ばれることが無くなるよう、日々活動をして行きたい思います。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

(浅川 泰雄)

広報担当副会長
広報部長
広報部次長
広報部理事
支部広報員

高橋 眞人
小田 靖
露木 文子
浅川 泰雄
菅原 大悟
畠山 主
武藤 健仁
志田 研哉
近藤 和吉
河合 一義

小澤 憲一
矢野 貴之
稲葉 健太郎
磯村 康行
市川 東
菊地 宏之

発行 神奈川県土地家屋調査士会
横浜市西区楠町18番地
TEL (045) 312-1177(代)
FAX (045) 312-1277
<https://kanagawa-chousashi.or.jp>

発行者 神奈川県土地家屋調査士会
会長 西田 貴麿

印刷所 株式会社コンパス
厚木市小野603-1
TEL (046) 250-1005